

FJQS作成補足資料・FJQS作成問題

ビジネスに活かす論理的思考 ～基本理解とトレーニング～

株式会社 富士通ラーニングメディア

UAF78L1N-01-P

Copyright 2018-2019 FUJITSU LEARNING MEDIA LIMITED

コース概要

FUJITSU

コースコード : UAF78L

コース名 : ビジネスに活かす論理的思考 ～基本理解とトレーニング～

概要 : 論理的思考（ロジカル・シンキング）は、議論や文書作成、計画立案など、様々なビジネスシーンで必要となる基本スキルです。その一方で、**論理の種類や前提の違いなどにより、論理的な議論でありながらすれ違い、結論が大きく異なる場合もあります。**
本コースでは、そうした**実務上の課題に対して効果的に取り組むために、演繹、帰納、アブダクション（仮説推論）などの代表的な論理の種類と、それらの長所・短所を含む特徴、必要条件と十分条件といった基本概念などについて、講義とトレーニングを通じて学び、ビジネスシーンでの実践力を高めます。**

学習形態 : 講義・演習

対象 : 論理的思考の力を高め、仕事で効果的に活用する必要のある方。

前提知識 : 特に必要ありません。

目標 : 本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 論理とは何か、論理の特徴について理解し、説明できる。
2. 論理の代表的な種類や基本概念について理解し、説明できる。
3. ビジネスシーンの様々な事例を通じて、論理的思考を実践できる。

- お名前
- 会社名・業務内容
- 参加目的
- 趣味・マイブームなど

※ 各グループ内で、本日、最も遠方からご参加頂いた方から順番に、時計周りで自己紹介をお願いします。

※ お一人2分程度を目安に進めてください。

目次

■ 第1章 ビジネスに活かす論理的思考

- 論理的思考とは何か
 - ・「論理」と「思考」
- ビジネスで「論理的思考」が必要なとき
 - ・インプット：思考を理解する論理
 - ・プロセス：思考をチェックする論理、サポートする論理
 - ・アウトプット：思考を表現する論理

■ 第2章 論理的思考の「部品」とは？

- 「思考」の構成要素
 - ・「知覚」と「思考」
 - ・「知覚」の中に入り込む「思考」
- 言語化すること
 - ・言語化されにくい理由
 - ・「思考」には、「言語」が必要

■ 第3章 思考を理解する「論理」

- 論理的に妥当な理解とは？
 - ・論理の「厳格さ」と「ゆるやかさ」
 - ・「事実」、「推論」、「推測」、「意見」：それぞれの違い
- 接続表現から理解する
 - ・接続語の種類（順接と逆説、並列と選択ほか）

■ 第4章 思考をチェックする「論理」： 普遍論理（global logic）

- 論理学の知見を活かす
 - ・演繹とその利用シーン
 - ・必要条件と十分条件、前件と後件
 - ・論理のチェック：逆・裏・対偶、反証と確証
- ビジネスシーンにおける演繹の例

■ 第5章 思考をサポートする「論理」： 個別論理（local logic）

- 特殊解としての個別論理（local logic）
 - ・帰納
 - ・ダイナミックな変化・発展の論理：弁証法
 - ・アブダクション（仮説推論）
- ビジネスシーンの個別論理（local logic）
 - ・仕事のタイミング／概念（言葉）を変える、etc.

■ 第6章 思考を表現する「論理」

- 前提を意識した組み立て
- 論理思考の推進